対象別団体プログラム一覧表

●人数 ●最大35名程度

●所要時間 ●30~40分

●最大8名程度

●20分

●最大80名程度

●30~40分

		磯の生き物	生き物の形とくらし	水辺の生き物	海にくらす鳥	マグロ	食べる	フィールドプログラム
幼児 ^(4~6歳)	タイトルねらい	ウニってなぁに? 人間と姿・形が大きく異なるウニですが、 あしや口もあって、うんちもします。ウニの 体のつくりや動きを映像で見たり、まねっ こをしたりしながら、ウニに親しみます。	さかなのかたち いろいろ	カエルってなぁに? カエルを見たことある? 長い後ろあし、 大きな口、ひっこめることができる目。ユ ニークな体のつくりや動きを映像で紹介 しながら、カエルに親しみます。	あれ、ペンギンかな? ペンギンはかわいいだけじゃない。映像をみたりクイズに挑戦したりしながら、水中でのくらしにあったペンギンの体のつくりについて楽しく学びます。	マグロってなぁに? マグロはどんな魚かな? 広い海を泳ぎ 続けてくらしているマグロの体のつくり や泳ぎを映像で見たり、まねっこをしたり しながら、マグロに親しみます。	おすしだいすき! どんなお寿司が好き?いろいろな海の生き物がお寿司になっています。水族園で見られるマグロ・タコなどを映像で見ながら、その生き物の特徴を楽しく学びます。	ひがたで あそぼう! 葛西海浜公園の「西なぎさ」で遊びます。 潮がひいてあらわれる干潟で、砂や泥を 掘ってカニや二枚貝のなかまをさがし、 観察し、干潟の生き物に親しみます。
「したしむ」	場所人数所要時間	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	: ●レクチャールーム : ●最大80名程度 : ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャールーム●最大80名程度●30~40分	: ●レクチャールーム : ●最大80名程度 : ●30~40分	・ ●レクチャールーム ・●最大80名程度 ・ ●30~40分	●葛西海浜公園「西なぎさ」●最大35名程度●1時間以上 *実施日・時間に制限あり
小学校 1•2年	タイトル ねらい	さがせ! ウニのひみつ ウニって知ってる? 映像を見ながら、ム ラサキウニの体のつくりや動きを観察 し、そのくらしを学びます。ウニもちゃん と「生きていること」を実感します。	さがせ! いろんな魚 海にはいろいろな形の魚がくらしています。マグロ、ウツボなどを映像を使って観察し、クイズやまねっこなどをしながら、形とくらしの関係を楽しく学びます。	さがせ! カエルのひみつ カエルのユニークな体のつくりや鳴き 声、オタマジャクシからの変態を、映像を 見ながら学びます。また、カエルを通じて 身近な水辺への関心につなげます。	さがせ!ペンギンのひみつ 「ペンギンはなぜかわいいのか?」を入 口に、海でくらす鳥、ペンギンのひみつ を紹介します。水中でのくらしに都合の 良い体のしくみなど、ペンギンのすごさ	さがせ! マグロのひみつ マグロのひみつとは? 体の形やひれ、泳 ぎを映像を使って観察し、外洋で泳ぎ続け るくらしのための工夫をさぐります。水槽 でのマグロの観察がおもしろくなります。	おすしいただきます! お寿司の材料の多くは海の生き物。マグロ・タコなどの体の特徴を映像で紹介し、お寿司になるまでの過程を学び、「いただきます」の意味を知ります。	ひがた たんけん隊 葛西海浜公園の「西なぎさ」を探険します。潮がひいた干潟を歩き、カニや二枚 貝、ゴカイなどをさがし、つかまえて観察します。干潟の生き物さがしの楽しさを体験
「感じる」	場所人数所要時間	●レクチャールーム●最大80名程度●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	を実感します。●レクチャールーム●最大80名程度●30~40分	・ ●レクチャールーム ・ ●最大80名程度 ・ ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	します。●葛西海浜公園「西なぎさ」●最大35名程度●1時間以上 *実施日・時間に制限あり
小学校 3•4年	タイトル ねらい	ウニの形 磯でくらすムラサキウニ。トゲが動くこと、 あしがあること、口も肛門もあることを映 像で確認し、体のつくりが磯でのくらしに 都合がよいことを学びます。	いろいろな魚の形とくらし 海の魚のいろいろな形は、それぞれの生息環境やくらしと深く関連しています。いくつかの魚の形とくらしを映像を使って観察し、形とくらしの関係を学びます。	身近な水の生き物のくらし かつて身近だったカエルやイモリ。その体 のつくりやくらしを映像を見ながら学びま す。どちらも数を減らしている現状を紹介 し、身近な水辺への関心につなげます。	ペンギンのからだとくらし ペンギンってどんな生き物? くちばしつ ばさ、あしなど、体のつくりと特徴を映像 などで観察し、それぞれがペンギンのく らしに都合がよくできていることを学び ます。	マグロの形 マグロの泳ぎ エサを求めて外洋を泳ぎ続けてくらすクロマグロ。体のつくりや泳ぎを映像を使って観察し、外洋でのくらしとの関係を学びます。また水槽での観察ポイントも紹介します。	おいしいな海のめぐみ 私たちは多くの海の生き物を食べています。それらの生き物の形やくらしを、映像などを使って学びます。また、漁の方法や日本の食文化についても紹介します。	〒潟で生き物たんけん 葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物をさ がし、つかまえます。干潟にはさまざまな 生き物がくらしていること、底質が違うと 見られる生き物が異なることを学びます。
「知る」	場所人数所要時間	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	・ ●レクチャールーム ・ ●最大80名程度 ・ ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●葛西海浜公園「西なぎさ」●最大35名程度●1時間以上 *実施日・時間に制限あり
小学校 5•6年	タイトル ねらい	じっくり観察 ウエ・ヒトデ・ナマコ ウニやヒトデなどの体のつくりや動きを 映像で観察し、くらしとの関連性を学び ます。またそれぞれの共通点を発見し、 同じなかま(棘皮動物)であることを紹介	このくらしに この形あり 魚の体の形やつくりがさまざまであることを映像などで観察し、その形やつくりがどのようなくらしや環境に適しているかを考えます。	身近な水辺の生き物と人のくらし カエルやメダカの体のつくりや一生について映像を見ながら学び、それらがくらす環境について紹介します。また、その環境に人の生活が与えた影響を考えます。	空を飛ぶ?飛ばない? 飛ばないペンギンと飛ぶウミガラス。よく 観察すると、飛ぶ・飛ばないに関連した さまざまな体の違いが発見できます。両 種の海での生活への適応について考え	マグロの泳ぎ 魚のくらし マグロの体のつくりや泳ぎを映像を使っ て観察し、それらが外洋でのくらしに適 応していることを推察します。さらに、他 の魚と比較し、魚の多様性の理解へつな	海の幸は世界から 私たちはさまざまな海の生き物を食べています。それらのくらしを学ぶとともに、マグロやタコなどが世界中の意外な場所から輸入されている現状について	干潟ってすごい!! 葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物を 観察します。干潟という環境に適応した多 様な生き物がくらすことを実感し、さらに 実験をとおして、干潟の役割を学びます。
「考える」	場所人数所要時間	します。 ●レクチャールーム ●最大80程度 ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	ます。	げます。 ●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	考えます。 ●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●葛西海浜公園「西なぎさ」●最大35名程度●1時間以上 *実施日・時間に制限あり
中学校「考える、	タイトル ねらい		水族園で魚類観察 「きれいだな、かわいいな」だけで終わる のはもったいない。「身を守る」「食べる」 などの視点で一緒に魚を観察し、気づく ことの楽しさを体験します。	ずっとカエルとくらしたい かつては身近な生き物であったカエル、 イモリ、メダカを取り上げ、これらがくら す環境を観察し、日本の水辺の現状と保 全の取り組みについて紹介します。	水中を飛ぶ鳥たち 生息環境の異なるウミガラスとペンギン を通して、水中生活に適応した形と進化 について学び、その後の水槽でのペンギンとウミガラスの観察、理解を深めます。	水族園マグロ学 マグロの形態、生態が外洋という環境に 適応していることを理解し、水槽のマグロ の観察を深めます。また、漁法や養殖、消 費など日本人との関わりも紹介します。	大好きなマグロを食べ続けるためにこのままだとマグロが食べられなくなる!? クロマグロの生態を学んだ後、資源量の減少や資源回復の取り組みなど、マグロを取り巻く問題について一緒に考えます。	 干潟ってどんなところ? 干潟の生き物がその環境に適応した体のつくり、くらしをしていることの理解を深めます。また、実験などを通じて干潟の役割やその保全について考えます。
行動する」	場所人数所要時間		●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ●30~40分	・ ●レクチャー ルーム ●最大80名程度 ・ ●30~40分	●レクチャールーム ●最大80名程度 ●30~40分	●葛西海浜公園「西なぎさ」●最大35名程度●1時間以上 *実施日・時間に制限あり
高校〜一般	タイトル ねらい		・ ど、水族園で推奨する魚類の観察の視点	東京の水辺 メダカ、イモリ、カエルなど水辺の代表的 な生き物を取り上げ、これらの生態やく らしている環境について学び、東京の水 辺の現状とこれからについて一緒に考え ます。	ペンギン、そのくらし 日本では大変人気のあるペンギン。かわ いいだけではないペンギンの本当の姿 を紹介します。また、ペンギンのくらす環 境とその現状について考えます。	はじめてのマグロ学 我々日本人にとてもなじみ深いマグロ。 生きているマグロを観察し、おいしいだ けではない、生き物としてのマグロの本 当の魅力を発見します。	マグロと日本人 マグロは私たち日本人にとって、とても 身近な魚です。現在、絶滅の恐れのある クロマグロの漁獲量の約90%を日本人 が消費しています。マグロを取り巻く問 題について一緒に考えます。	東京湾の干潟を知る 干潟の生き物とその環境を観察し、また、実験などを通じて生態系における干 潟の役割についての理解を深めるとと もに、東京湾の干潟の現状やその保全 について考えます。
行動する」	場所人数所要時間	1	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	●スタッフにご相談ください	・ ●スタッフにご相談ください ・ ・ ・	●スタッフにご相談ください	● ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
その他	タイトル ねらい	ウニなど多様な生き物がくらす磯での遊	さまざまな障がいがある方のためのプログラムです。ヒトデやナマコ、ヤドカリなどの磯の生き物に直接ふれて観察し、	メダカの飼育 小学校5年 教室でのメダカの飼い方について紹介 するとともに、そこから見えるメダカのく らしや生息環境、さらに放流などメダカ を取り巻く問題について学びます。	・ 水槽のペンギンを観察しながら、水中で	マグロ水槽前ガイド 全学年対象 マグロってぎんな魚? どうやって泳ぐ の? 水槽前でマグロを観察しながら、体 のつくりやくらしを学びます。短時間の ガイドです。		
	●場所	●水槽前&レクチャー ルーム	• • ウェットラボ	●レクチャールーム	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		

●最大35名程度

●15分

●最大35名程度

●15分

幼児向け団体プログラム

「したしむ」 保育園児・幼稚園児向けのプログラムです。クイズやまねっこをとおして生き物に 親しみます。いずれも水族園の見学が楽しくなるプログラムです。



ウニってなぁに?

磯の生き物

私たち人間と姿・形が大きく異なるウニですが、ちゃ んとあしがあって、口もあって、うんちもします。ウニの 体のつくりや動きを映像で見たり、まねっこをしたりし ながら、ウニに親しみます。

▲レクチャールーム 4最大80人程度 530~40分

導入:わたしはだれ?(ウニの特徴を確認)

展開:ウニのあしや口、おしりの穴をさがしてみよう

(ウニと人間をくらべながら体のつくりを知る)

まとめ:ウニのまねっこやクイズ(振り返り)



カエルってなぁに?

水辺の生き物

カエルを見たことあるかな? 長い後ろあし、大きな 口、ひっこめることができる目。ユニークな体のつく りや動きを映像で見たり、クイズに挑戦したりしなが ら、カエルに親しみます。

血 レクチャールーム 4 最大80人程度 ○ 30~40分

導入 :カエルの○×クイズ(カエルの特徴の確認)

展開:カエルを見てみよう

(生体を使って体のつくりや動きの確認)

まとめ:カエルのまねっこ(振り返り)



さかなのかたちいろいろ(生き物の形とくらし)

海のなかにはさまざまな魚がくらしており、その形もい ろいろです。長細い魚、ぺちゃんこの魚、ラグビーボール のような形の魚。いろいろな形の魚とそのくらしを映像 で見たり、まねっこをしたりしながら、魚に親しみます。

★レクチャールーム よ最大80人程度 ○30~40分

導入 :この魚はなにかな?(シルエットクイズ)

展開 : 魚をいろんな方向から見てみよう(形のおもしろさを知る)

魚のくらしを見てみよう(形だけでなく、くらしも多様なことを知る) まとめ:この形にどんな良いことがあるのかな(形とくらしの関連性に気づく)



あれ、ペンギンかな? 海にくらす鳥

ペンギンはかわいいだけじゃない。映像をみたりク イズに挑戦したりしながら、水中でのくらしにあった ペンギンの体のつくりについて楽しく学びます。

血 レクチャールーム 4 最大80人程度 ○ 30~40分

導入:ペンギンってどんなかたち?

展開:ペンギンは泳ぐ鳥。空を飛ぶ鳥と

違うところをさがそう(それぞれの体の特徴の確認) まとめ:水中でのくらしにあった体のひみつに気づく



マグロってなぁに?

マグロ

マグロはどんな魚かな? 広い海を泳ぎ続けてくらし ているマグロの体のつくりや泳ぎを映像で見たり、ま ねっこをしたりしながら、マグロに親しみます。水槽で のマグロの観察が楽しくなります。

☆レクチャールーム **&** 最大80人程度 **○**30~40分

導入 :マグロはどんな海にくらしているの?(生息環境の確認)

展開 :マグロの体の形は? どこを使って泳いでいる? ひみつのヒレを さがしてみよう(マグロの体のつくりを知る/泳ぎをまねる)

まとめ:マグロ○×クイズ(振り返り/水槽観察への誘導)



おすしだいすき!

食べる

どんなお寿司が好きかな?いろいろな海の生き物が お寿司になっています。水族園で見られるマグロ・タ コ・ウニの生きている姿を映像で見ながら、それぞれ の生き物の特徴やくらしを楽しく学びます。

血 レクチャールーム 4 最大80人程度 ○30~40分

導入 : このお寿司はなんだ? (お寿司になっている生き物を確認)

展開 :お寿司になっている生き物のくらし まとめ:お寿司の水槽紹介(水槽観察への誘導)



ひがたであそぼう! フィールドプログラム

葛西海浜公園の「西なぎさ」で遊びます。潮がひく とあらわれる干潟で、砂や泥を掘ってカニや二枚貝 のなかまをさがし、観察し、干潟の生き物に親しみ ます。

血 葛西海浜公園「西なぎさ」 4 最大35名程度 ○1時間以上(応相談) ※大潮の日の潮がひく時間に限ります

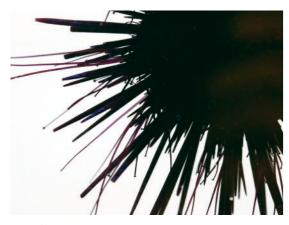
導入 :干潟を歩こう(干潟を感じる)

展開 :生き物をさがしてみよう(干潟での生き物のさがし方を学ぶ) まとめ:どんな生き物がいたかな(干潟の生き物に親しむ)



小学校1・2年向け団体プログラム

「感じる」 小学校 1・2 年向けのプログラムです。生き物の体のつくりや動きを観察し、「生きていること」を実感します。いずれも水槽での観察が楽しくなるプログラムです。



さがせ! ウニのひみつ

ウニって知ってる?映像を見ながら、ムラサキウニの 体のつくりや動きを観察し、そのくらしを学びます。ウ ニもちゃんと「生きていること」を実感します。

導入 :ウニは海のどこにいるの?(生息環境の確認)

展開 :ウニのあし、口やおしりの穴をさがそう(体のつくりを確認) ウニは何を食べているのかな? 敵はだれ? (くらしを知る)

まとめ:ウニのおさらいクイズとトゲトゲクイズ

(振り返り/水槽のウニ類の観察へ誘導)



さがせ! カエルのひみつ (水辺の生き物)

カエルのユニークな体のつくりや鳴き声、オタマジ ャクシからの変態を、映像を見ながら学びます。ま た、カエルが減っていることを知ってもらい身近な水 辺への関心につなげます。

導入 :カエルクイズ(カエルの体の特徴を確認)

展開 :どのカエルの鳴き声かな(カエルの声の多様性を知る) オタマジャクシからカエルへ(カエルの変態過程を知る)

まとめ:カエルが減っている? (減っていることとその理由を学ぶ)



さがせ! いろんな魚 (生き物の形とくらし

海にはいろいろな形の魚がくらしています。マグロ、 ウツボ、カレイの体の形とくらしを映像で観察し、クイ ズやまねっこなどをしながら、形とくらしの関連性を 楽しく学びます。

導入 :この魚はなにかな?(シルエットクイズ)

展開 : 魚の形をいろんな方向から見てみよう(形の多様性を知る) この魚はどこでくらしているかな?(形とくらしの関係を学ぶ)

まとめ:いろいろな形の魚の紹介(多様な魚の観察へ誘導)



さがせ! ペンギンのひみつ (海にくらす鳥)

「ペンギンはなぜかわいいのか?」を入口に、海でく らす鳥、ペンギンのひみつを、映像を使って観察しま す。体の形やつばさなど、水中でのくらしに都合の良 いしくみに気づき、ペンギンのすごさを実感します。

導入 :ペンギンってどんな生き物?(ペンギンのイメージを確認)

展開 :ペンギンはなぜかわいいか?(ペンギンの立ち姿の意味を知る) ペンギンの3つのひみつ(ペンギンの体の特徴とその意味を学ぶ)

まとめ:ペンギンにはひみつがいっぱい(水槽での観察へ誘導)



さがせ! マグロのひみつ

マグロ

マグロはどんなひみつを持っている? マグロの体の 形やひれ、泳ぎを映像で観察し、外洋で泳ぎ続けるく らしのためのひみつをさぐります。水槽でのマグロの 観察がおもしろくなります。

▲ レクチャールーム 4 最大80人程度 ○30~40分

導入:マグロはどれかな?(シルエットクイズ)

展開 :マグロはどんな海でくらしているの?(生息環境の確認) 体の形、泳ぎ、隠れたひれ。マグロのひみつをさがそう (体のつくりとくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:ひみつのおさらい(振り返り/水槽での観察へ誘導)



血 レクチャールーム 4 最大80人程度 ○ 30~40分

導入 :お寿司になる前はどれだ?(お寿司になっている生き物を確認)

食べる

展開 :お寿司になる前のくらし(それらの生き物のくらしを知る)

どうやってお寿司になるの?(お寿司になるまでの過程を知る) まとめ:「いただきます」と「ごちそうさま」の意味

お寿司の水槽紹介(水槽での観察への誘導)



葛西海浜公園の「西なぎさ」を探険します。潮がひく とあらわれる干潟を歩きながら、カニや二枚貝、ゴカ イのなかまなどをさがし、つかまえ、観察します。干潟 での生き物探しの楽しさを体験します。

▲ 葛西海浜公園「西なぎさ」 4 最大35名程度 ○1時間以上(応相談) ※大潮の日の潮がひく時間に限ります

導入 : 干潟を歩こう(干潟を感じる)

展開 :生き物を探して、つかまえてみよう

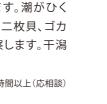
(体験を通じて生き物の行動やくらしを学ぶ)

まとめ:どんな生き物がいたかな(干潟の生き物の観察)



ひがた たんけん隊

フィールドプログラム





小学校3・4年向け団体プログラム

小学生3・4年向けのプログラムです。観察をとおして生き物の体のつくりや動き 「知る」 を知り、それらが生息環境やくらしと深く関わっていることを学びます。水槽での観 察が学びにつながるヒントを紹介します。



ウニの形

磯の生き物

磯でくらすムラサキウニ。トゲが動くこと、あしがある こと、口も肛門もあることを映像で確認し、体のつくり が磯でのくらしに都合がよいことを学びます。

血 レクチャールーム ▲ 最大80人程度 ○ 30~40分

導入:ムラサキウニはどこでくらしているの?(生息環境の確認)

展開 :ムラサキウニを観察しよう(生体や標本の観察)

観察カードをつくろう(体のつくりとくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:水槽でのウニ類の観察へ誘導

(ウニの形とくらしの多様性を知る)



身近な水の生き物のくらし「水辺の生き物」

かつて身近だったカエルやイモリ。そのユニークな 体のつくりや水辺と陸上を行き来するくらしを映像 を見ながら学びます。どちらも数を減らしている現状 を紹介し、身近な水辺への関心につなげます。

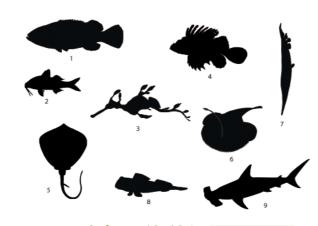
導入 :カエルとイモリクイズ(両種の違いを確認)

展開:カエルとイモリ、どんな生き物かな?

(体のつくりの特徴を知る)/(水辺と陸上を行き来するくらしを知る)

まとめ:カエルやイモリを見たことある?

(危機的な現状やその理由を学ぶ)



いろいろな魚の形とくらし (生き物の形とくらし)

海にはいろいろな形の魚がくらしており、その形はそ れぞれの生息環境やくらしと深く関連しています。い くつかの魚の形とくらしを映像で観察し、形とくらし の関連性を学びます。

血レクチャールーム 最大80人程度 **○**30~40分

導入:魚はどれ?(魚の形態の特徴、陸上動物との違いを確認)

展開:この形の魚は、どこでどんなくらしをしているのかな

(形とくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:ユニークな形の魚をさがして、そのくらしを想像しよう



ペンギンのからだとくらし、海にくらす鳥

ペンギンはどんな生き物かな?くちばし、つばさ、あ しなど、ペンギンの体のつくり一つ一つとその特徴を 映像などで観察します。そして、それぞれがペンギン のくらしに都合がよくできていることを学びます。

導入 :ペンギンの絵を完成させよう!(体のつくりを確認)

展開 :ペンギンはなんの仲間?(鳥としての特徴を知る)

海でくらすペンギンと空を飛ぶ鳥の違いは?

(体のつくりの特徴と海でのくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:ペンギンと似ている魚は?(水槽での観察へ誘導)



マグロの形 マグロの泳ぎ マグロ

エサを求めて外洋を泳ぎ続けてくらすクロマグロ。ク ロマグロの体のつくり(体の形やひれ)や泳ぎを映像 を使って観察し、外洋でのくらしとの関連性を学びま す。また水槽での観察のポイントも紹介します。

導入:クロマグロはどれかな?(クロマグロの体の形の確認)

展開:クロマグロはどんなくらしをしているのかな?(生息環境とエサを知る) 体の形や泳ぎを見てみよう(形とくらしの関連性を学ぶ)

まとめ:ほかの魚をクロマグロとくらべてみよう(水槽での観察へ誘導)



おいしいな海のめぐみ

食べる

おせちやお寿司、多くの海の生き物を私たちは食べ ています。それらの生き物の形態やくらしを、映像な どを使って学びます。また、漁の方法や豊かな海の恵 みを利用する日本の食文化についても紹介します。

血 レクチャールーム 4 最大80人程度 ○30~40分

導入 :この料理の材料はなに?(私たちの食べている海産生物の確認)

展開:「海の恵み」のくらし(それらの生き物のくらしを知る)

どうやってつかまえるの?(漁の方法を知る) まとめ:豊かな海の恵みがある日本(日本の食文化を知る)

お寿司の水槽紹介(水槽での観察への誘導)



干潟で生き物たんけん「フィールドプログラム」

葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物を探し、つかま えます。何もいないように見える干潟にもさまざまな 生き物がくらしていること、砂や泥など底質が違うと 見られる生き物が異なることを学びます。

▲葛西海浜公園「西なぎさ」 4最大35名程度 ○1時間以上(応相談) ※大潮の日の潮がひく時間に限ります

導入:干潟にはどんな生き物がいるかな?

展開 : 干潟にもいろいろな場所がある(底質の違いを感じる) 生き物を探して、つかまえよう

(体験を通じて生き物の行動やくらしを学ぶ)

まとめ:どの場所にどんな生き物がいたかな?





小学校5・6年向け団体プログラム

小学校5・6年向けのプログラムです。生き物の体のつくりとくらす環境との関 「考える」係を推察しながら学びます。他の種と比較することで生き物や環境の多様性の 理解へつなげます。



じっくり観察ウニ・ヒトデ・ナマコ(磯の生き物)

磯にくらすウニとヒトデ、ナマコの体のつくりや動きを 映像で観察し、くらしとの関連性を学びます。また比較 して共通点を発見し、じつは棘皮(きょくひ)動物とい う同じなかまであることを知ります。

血レクチャールーム ▲最大80人程度 ●30~40分

導入:ウニ・ヒトデ・ナマコってどこでどんなくらしをしているの? 展開 :ウニ・ヒトデ・ナマコをじっくりと観察(体のつくりを確認) それぞれの生息環境やくらしを推察(適応を学ぶ)

まとめ:ウニ・ヒトデ・ナマコ どこが違う?どこが同じ?(分類理解)



身近な水辺の生き物と人のくらし「水辺の生き物」

カエルやメダカの体のつくりや一生を映像で学び、それら がくらす環境について知ります。そして、その環境が人の生 活によりどのように変わったかを考えます。

血レクチャールーム ▲ 最大80人程度 ●30~40分

導入:カエルやメダカの観察(体のつくりの確認)

展開:カエルやメダカはどんなところにくらしている? (両種がくらしていくために必要な環境を知る)

水辺の環境はどう変わった?(人の生活の影響)

まとめ:カエルやメダカのくらす環境を見よう(水槽での観察へ誘導)



このくらしにこの形あり「生き物の形とくらし

魚の体の形やつくりがさまざまであることを映像など で観察し、その形やつくりがどのようなくらしや環境 に適しているかを考えます。その後の水槽での観察 を楽しく、効果的にします。

血レクチャールーム ▲最大80人程度 ⑤30~40分

導入 :これぜんぶ魚?(魚の形の多様性を知る)

展開:いろいろな魚の形のくらし(形とくらしの関連性を知る) この魚はどこでくらしているの?(形からくらしと環境を推測)

まとめ:水族園で見られるいろいろな魚(水槽での観察へ誘導)



空を飛ぶ?飛ばない? 海にくらす鳥

飛ぶウミガラスと飛ばないペンギン。どちらも海での くらしに適応した鳥ですが、じっくりと観察すると、飛 ぶ・飛ばないに関連したさまざまな違いが発見でき ます。両種を比べ、水中への適応について考えます。

導入 :ペンギンとウミガラスはどんな鳥?(体のつくりの確認) 展開 :ペンギンとウミガラスのくらし(海でのくらしを知る)

ペンギンとウミガラスどこが違う?(体のつくりとくらしの関連性を学ぶ) まとめ:なぜ飛ばない?なぜ飛ぶ?(鳥の多様性について考える)



マグロの泳ぎ 魚のくらし

マグロの体のつくりや泳ぎを映像を使って詳細に観 察し、それらが外洋でのくらしに適応していることを 推察しながら学びます。さらに、他の魚の体のつくり や泳ぎと比較し、魚の多様性の理解へつなげます。

血レクチャールーム 最大80人程度 **○**30~40分

導入 :マグロはどんな海にいるかな?(生息環境の確認)

展開 :外洋でのくらしに都合のよい体のつくりや泳ぎを詳細に観察 (適応について学ぶ)

まとめ:他の魚の体のつくりとくらしの関係を見てみよう(水槽での観察へ誘導)



干潟ってすごい!! 「フィールドプログラム

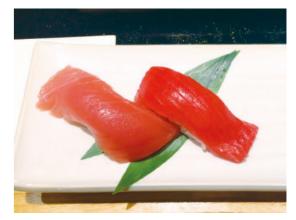
葛西海浜公園の「西なぎさ」で生き物を観察します。 干潟には干潟という環境に適応した多様な生き物が くらすことを実感し、さらに実験を通じて、干潟の役割 を学びます。

▲葛西海浜公園「西なぎさ」 よ最大35名程度 (2)1時間以上(応相談) ※大潮の日の潮がひく時間に限ります

導入:干潟ってどういう環境かな?

展開 : 干潟の生き物を観察しよう(干潟に適した体のつくりを学ぶ) アサリの浄化実験

まとめ:干潟はなぜ大切なのか?(干潟の役割について考える)



海の幸は世界から

私たちはさまざまな海の生き物を食べています。そ れらの生き物のくらしを学ぶとともに、マグロやタコ などが世界中の意外な場所から輸入されている現状 について考えます。

血レクチャールーム ▲最大80人程度 ●30~40分

導入:この料理の材料はなに?

展開:この「海の幸」はどんなくらしをしているの? (多様な海の生き物のくらしを知る) マグロやタコはどこからやってくる? (水産物の産地や輸入の現状を知る)

まとめ:「海の幸」の今を考える



その他の団体プログラム

他にも中学生、高校生から一般向けの団体プログラム、また、全学年向けに発達段階に応じた水槽前 や屋外展示前での短時間のガイドやフィールドプログラム、障がいのある子ども向けのプログラムな ど多様なメニューを用意しています。メニューにないものもご相談ください。



この夏 磯へ行こう!

全学年対象

磯に行ったことがありますか? ヒトデやウニなど、い ろいろな生き物がくらす磯での遊び方を、園内の「渚 の生物」水槽で学びます。臨海学校の事前学習として も活用できます。

▲水槽前&レクチャールーム ▲ 最大35人程度 ⑤30~40分

導入 :磯ってどんなところ?(水槽で磯の環境を確認)

展開:磯で生き物をさがしてみよう。観察してみよう。

まとめ:磯に行く前に(磯で楽しく遊ぶための準備や心構えを知る)

(磯での生き物のさがし方や観察方法を学ぶ)



マグロ水槽前ガイド

全学年対象

マグロってどんな魚? どうやって泳ぐの? 水槽前で マグロを観察しながら、体のつくりやくらしを学びま す。短時間のガイドです。

▲水槽前 ▲ 最大35人程度 ⑤15分

導入:マグロはどんな海にくらしているの?(生息環境の確認)



水族園で魚類観察

「きれいだな、かわいいな」だけで終わってしまうの はもったいない。「視点」をもって魚を観察すると、お もしろい発見がたくさんあります。映像を使い、「身を 守る」「食べる」などの視点で一緒に魚を観察します。

血レクチャールーム ▲ 最大80人程度 ⑤30~40分

導入 :どれも魚? (魚の形や色の多様性を確認)

展開 :「身を守る」「食べる」という視点で魚を観察

まとめ:他にもある観察の視点(水槽での観察へ誘導)



大好きなマグロを食べ続けるために 中学生~一般

導入 :クロマグロのくらしと生活史

マグロ資源回復の取り組みについて

まとめ:一緒に考える「マグロを食べ続けるために」



メダカの飼育

ご覧ください。

小学校5年対象

教室でのメダカの飼い方について紹介するととも に、飼い方から見えるメダカのくらしや生息環境、さ らにメダカを取り巻く問題について学びます。

導入:メダカはどんなところにくらしている?

(メダカのくらしと生息環境について知る)

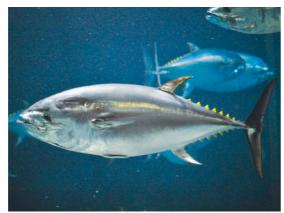
展開 :メダカはどう飼えばいの?(メダカの飼い方を学ぶ) まとめ:メダカを取り巻く問題



ふれて観察

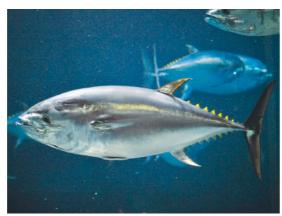
特別支援学校対象

さまざまな障がいがある方のためのプログラムで す。ヒトデやナマコ、ヤドカリなどの磯の生き物に直 接ふれて体の形やつくりを観察し、生き物への親しみ を深めます。



このままだとマグロが食べられなくなる!? クロマグロ のくらしや生活史を学んだ後、資源量が減っているこ とや資源回復の取り組みなど、マグロを取り巻く問題 について一緒に考えます。

展開 :マグロ資源の現状について



その他にもさまざまなプログラムを用意しています。 詳しくは4~5pの「対象別団体プログラム一覧表」を



団体プログラムの利用方法

水族園の見学を有意義にするための団体プログラム。次の要領でご利用ください。

1. 対象となる団体

学習目的で来園される幼稚園や学校など ※学校団体以外の利用についてはご相談ください

- 2. 利用に当たっての条件
 - 1) 実施できるのは、ゴールデンウィークや夏休みなどの繁忙期以外の平日のみ
 - 2) 天候に関わらず来園予定であること
 - 3) 水族園の滞在が2時間以上であること
 - 4) 引率の先生が同伴すること
- 3. プログラム申込み完了までの流れ
 - 1) (来園2週間以上前)電話またはご来園により実施するプログラム内容の相談
 - 2) 団体入園の事前手続き
 - 3) 「団体プログラム受付完了書」をFAXで受け取って申込み完了
- 4. プログラムの内容について
 - 1) メニューにないプログラムをご希望の場合は別途ご相談ください
 - 2) メニューに記された「人数」は1回あたりの対象人数ですので、それ以上の人数の場合は数回に分けて実施いたします
 - 3) 到着が大幅に遅れた場合は、プログラムを実施できない場合があります。余裕のあるスケジュールでお申し込みください
- 5. 団体プログラムの申込みについて

団体プログラムの利用を希望される場合は、来園の2週間前までに、ご担当の先生からお電話もしくは直接ご来園の上、ご相談、お申込みください。旅行代理店など、代理の方からのご相談はお受けできません。

団体プログラムに関する問い合わせ先

葛西臨海水族園 教育普及係解説スタッフ 電話:03(3869)5152(代表)

学習参考資料

●観察シート「魚ッチングシート」

「魚ッチングシート」は、水族園で楽しく生き物を観察するためのワークシートです。年齢や興味の対象などによって選ぶことができます。「はじめて」は3~5歳向け、「初級」は小学校低学年、「中級」は小学校高学年、「上級」は中学生以上の方を対象に作成しています。「中級」以上であれば、大人の方でも楽しめる内容となっています。

休日など館内が混雑しているときは、水槽の前が混み合い、生き物の観察が難しい場合があります。その場合は、「混雑時用」と示された、観察しやすい大きな水槽を対象にしたシートがおすすめです。

お問い合わせは、葛西臨海水族園 教育普及係

電話:03-3869-5152 (9:30~16:30)